



写真:(右上)よっかいちYYストリート
(右下)四日市JAZZ FESTIVAL

四日市の顔

中心市街地「まちなか」を楽しもう

中心市街地は、市内外から、さまざまな人が集まる「四日市の顔」となる存在です。多くの人が集まってくる場所だからこそ、多種多様な魅力が詰まっています。そんな中心市街地で、皆さんのお気に入りを見つけてみませんか。

中心市街地とは…

商業、行政、居住、働く場、公共交通などの都市機能が集積し、長い歴史の中で文化、伝統を育み、各種都市機能を培ってきた、まちの顔ともいべき地域のことを指します。「四日市市中心市街地活性化基本計画」では、東西を国道164号から堀木日永線までを含んだ区域、南北を阿瀬知川・鵜の森公園から柳通りを含んだ区域としています。

今回の特集では、この中心市街地のうち、四日市の玄関口でもある近鉄四日市駅周辺とJR四日市駅周辺を取り上げます。

中心市街地への高い期待

毎年、本市で実施している市政アンケートでは、「中心市街地」について、市民の皆さんの期待が高い反面、満足度が低い結果になっています。ここでは、アンケートで寄せられた皆さんの声にお答えします。

元気、活気がない？
若者は？
親子連れで行ける？



多彩なイベントでにぎわい



よっかいちYYストリート(歩行者天国)など市が主催するイベントのほか、専門学校生が出店する「よっかいちお菓子フェスタ」や高校生が運営に携わる「集まれ!ポンポコキッズin本町通り商店街」など、若い世代が参加するさまざまな趣向を凝らしたイベントが開催され、多くの来街者でにぎわっています。

また、四日市のまちなか元気発信拠点としての「すわ公園交流館」では、「こども四日市」をはじめ参加型のワークショップなど、親子で楽しめるイベントもあります。

交通手段についても、中心市街地は公共交通が充実しているほか、周辺には駐車場も整備されていますので訪れやすくなっています。この4月には、近鉄四日市駅東に車の屋根付き乗降場も整備しました。



こども四日市



集まれ!ポンポコキッズ in 本町通商店街



よっかいちお菓子フェスタ



1000000人の
キャンドルナイト in すわ公園

飲食店が増えて
いるようですが…



宿泊者らに魅力の飲食店



産業都市である本市には、ビジネス目的での来訪者のほか、三重県内への観光客など、月に約4万5千人もの方が訪れており、その多くが本市の中心市街地に集積する宿泊施設を利用しています。(市の宿泊収容人数 3,334人)

また、宿泊者にとって、周辺に集積する多彩な飲食店は利便性が高く、魅力の一つとなっています。(店舗数 約700)

飲食店の立地は空き店舗の解消にもつながっています。また、商店街が中心となって特色あるイベントも開催しており、市内外を問わず多くの人々が参加しています。

さらに、来年5月の伊勢志摩サミット開催により、こうした強みを生かした大きな経済効果が期待されます。

食べ歩きを満喫できる
「四日市まちなかバル」



諏訪公園でビアガーデン「スワビ・アミューズ」
今年は9月2日(水)・3日(木)に開催



びと
まちなか元気人の声

大好き

(左から) 教員 佐野 文子さん、
製菓製パン総合学科2年 山本 はるかさん、
同 山田 美優さん、教員 鈴木 歩美さん

第3回よっかいち お菓子フェスタ2015に出店 ユマニテク調理製菓専門学校

第1回のお菓子フェスタから参加し、今回は「マジパンでこにゅうどうくんをつくろう!!」
という体験ブースを担当しました。

たくさんの人との触れ合いが楽しかった

体験用のマジパンは200個分準備し、全部なくなるか不安でしたが、当日は、始まる前から長蛇の列になり、お昼過ぎには全てなくなりました。祭り以外でも、商店街がこんなに、にぎやかになることがあるんだなと思いました。

作り方を教えていたお子さんの、自分のマジパンが出来たときの素直な笑顔を見たとき、お菓子づくりの楽しさに改めて気付かされました。

商店街のイベントを通して、たくさんの人と触れ合うことができ、楽しかったですね。商店街など、もっと地元を知りたい気持ちにもなりました。

自分の生まれ育った四日市が好きです。地元の安心感がありますね。将来は、そんな地元四日市で、皆さんに愛される菓子やパンを作りたいと思います。



こにゅうどうくんの
マジパン



みんなの団結力で無事終了



若い人のパワー
みなぎる取り組みに元気づけられました。今回のイベントのように、商店街はいろいろなことに挑戦できるステージでありたいと思っています。

よっかいちお菓子まつり実行委員会
(四日市諏訪商店街振興組合) 水谷 武生さん

お菓子フェスタとは

東海道が通る表参道スワマエを会場に、県内の和洋菓子店と商店街のコラボレーションにより「現代版四日市宿」を再現し、まちのにぎわいにつなげるイベント。市は、四日市市商店街活性化イベント事業として補助をしています。

空き店舗への出店を 支援します

四日市市空き店舗等 活用支援事業補助金

商店街の空き店舗などを活用し、新たに新店を出す際の経費の一部を補助します。詳しくは、商業労働課(☎354-8175)まで



吉田 金二郎さん

四日市が好きな人を増やしたい

人との触れ合いがなくなっている中、商店街は、人との触れ合いが持てるコミュニティとしての場になります。特に飲食店は、接客などを通して人とのコミュニケーションがとりやすい環境にあると思います。例えば、食材の説明で地元食材を褒められると、自分を褒めてもらったように感じ、地元が好きになる経験

をする人もいます。自分のまちを好きになると、自分のまちに誇りが持てます。

これからも四日市が好きな人を増やし、魅力ある楽しいまちづくりに関わっていきたいと思っています。

まちなか

11月14日 開催予定



商業科3年 竹内 彩乃さん 小林 真亜莉さん

第7回集まれ!ポンポコキッズ in本町通り商店街 四日市商業高等学校

本町通り商店街と
共同でイベント運営

集まれ!ポンポコキッズin本町通り商店街とは

小学3～6年生を対象にした職業体験のイベントです。参加者の子どもたちは、本町商店街を舞台に地域通貨「ポンポコ」を使って、「職探し→仕事をやる→給料をもらう→税金を支払う→残りのお金で買い物をする」という一連の体験をします。子どもたちは本町通り商店街のさまざまな店舗で仕事をします。

市は、このイベントを四日市市商店街魅力アップ事業として補助をしています。



一緒にイベントをやった高校生がまたお店に来てくれたときは嬉しかったですね。歴史もあり、親しみやすい商店街ですので、皆さんもぜひ、お越しください。



四日市本町通り商店街振興組合
理事長 奥山 真弘さん

魅力に気付いてもらえるよう

商店街の人は、あったかいアットホームなイメージがあります。11月のイベントを楽しみにしています。また、子どもが好きなので、子どもたちに「また来たい」と思ってもらえるような楽しいイベントにしたいと思っています。

商店街は、年配の人が行くイメージがありましたが、昨年、このイベントの運営を手伝ったとき、自分の知らなかったお店で楽しむことができました。イベントを通して商店街の魅力に気付いてもらうことで、地元に貢献できたらと思います。



空き店舗に出店
重盛 守道さん

商店街の人たちは 家族のようにあったかい

商店街でお店をやろうと思った理由は、人通りも多いし、面白そうだなと感じたからです。また、商店街は全国的に厳しい状況にありますが、逆に地元密着でやってみようという気持ちもありました。

実際、お店をやるようになって一番感じたのは、同じ商店街で出店している先輩の人たちがとても親切なことです。お店のことでアドバイスをいただける以外にも、いろいろなことで家族のような温かいつながりがあります。



諏訪神社
にこにこプロジェクト
久安 典之さん

諏訪神社から 楽しい催し

歴史ある諏訪神社を拠点に、中心市街地ににぎわいをもたらす楽しい取り組みをしたいと活動をしています。8月22日に開催する諏訪神社の池の清掃は、池の水を抜く時に子どもたちが池の中の魚や亀を捕まえて楽しく観察しながら行います。ぜひ、ご参加ください。[詳しくはすわ公園交流館(☎350-8411)まで]

他にも秋の落語会、毎月15日の「なちゆるる市場」なども開催しています。

今後も地域のさまざまな世代の人と関わりを持ち、一緒に活動をしていきたいと思っています。



四日市の玄関口 ～より利用しやすく～

まちなかの魅力をお膳立て

本市の中心市街地は、1日の乗降客数が約5万人と県下一を誇る近鉄四日市駅を核に、バスターミナルや中央通りなど交通インフラが充実しています。近くには、市民公園や諏訪公園など市民の憩いのスペースや市役所をはじめとする公共施設などが立地しており、さまざまな都市基盤が集中する利便性の高い地域です。

今後もこれらの資源を有効活用し、周辺の商業施設などとも連携しながら、四日市の玄関口にふさわしい整備を行っていきます。

近鉄四日市駅周辺の整備

屋根付き乗降場を整備

送迎が安全・便利に

近鉄四日市駅高架下の送迎車両による混雑を解消するため、近鉄四日市駅・あすなろう四日市駅の東側に送迎用の屋根付き乗降場を整備しました。ぜひ、利用してください。



近鉄四日市駅の西口広場整備

本市の玄関口にふさわしい空間として、交通機能の強化を図ります

鉄道やバスなどの乗り継ぎ環境の改善などを行い、便利で使いやすい駅にするとともに、にぎわいの創出にもつなげます。現在、西口広場の整備に向けて基本方針の策定を進めているところです。



電子看板(デジタルサイネージ)の設置

効果的な情報発信でお迎えます

近鉄四日市駅周辺に市政・観光・防災・地域情報などを発信するための「デジタルサイネージ」と呼ばれる電子看板を設置し、来街者へ効果的に情報発信を行い、中心市街地のにぎわい創出につなげます。



民間事業者により「ララスクエア四日市」に設置された電子看板

中心市街地の再開発促進事業

サンシ前火災跡地に複合ビル

平成19年9月に諏訪栄町内の火災により空き地となった場所は、市の補助制度を活用し、民間事業者によって、高齢者向け住宅を中心とした複合ビルが建設される予定です。現在、設計などの準備が進められており、平成28年度末に完成予定です。

ビルには、居住者以外の人も利用できる福祉施設や商業施設のほか、オープンスペースや多目的ホールなどを配置し、福祉とにぎわいのまちづくりの拠点として整備される予定です。



サンシ前火災跡地



複合ビルのイメージ模型

皆さんにとってのお気に入りを見つけましょう

さあ、来て、見て、触れてみてください

お気に入りのお店を探すなら

まちの学習帳

諏訪西商店街内の約200店舗の情報が掲載されているほか、お店の通信簿を付けたり、店主らとのコミュニケーションを日記風に書いたりできる、ちょっと変わった商店街ハンドブックです。四日市商工会議所、四日市観光協会などで無料で配布しています。

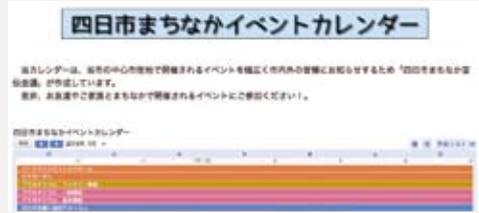


まちなかのイベントを見つけるなら

四日市まちなかイベントカレンダー

ホームページ上のカレンダーでイベント情報がご覧になれます。

<http://www.yokkaichi-cci.or.jp/web/machinaka/calender.html>



ジャズ フェスティバル 第4回四日市JAZZ FESTIVAL 9月12日(土)、13日(日)

市民公園をメイン会場に、商店街などでJAZZだけでなく、さまざまなジャンルの音楽の素敵な演奏を生演奏で楽しめます。お祭りのような気分で気軽に立ち寄って、雰囲気を感じてください。(詳細は広報よっかいち8月下旬号でお知らせします) 同実行委員会(文化会館内) ☎354-4501



お月見どるぼう

9月27日(日) すわ公園交流館

※お月見泥棒とは、お月見の日に、家を回ってお菓子を取りに行く習慣

四日市は「お月見泥棒」が盛んな地域で、この風習をなくしたくないという思いで昨年から始まったイベント。対象は小学生以下の人(小学生未満は保護者同伴)です。(詳細は広報よっかいち8月下旬号でお知らせします)



四日市で四目の市

JR四日市駅前広場
毎月4日 10:00~15:00



出店者の声

ミニライブなども開催される市場です。各出店者は「JR四日市駅から四日市を元気に」という心意気でやっています。市場では、こだわりのものを自信を持って出しています。アットホームな雰囲気の手づくりの市場です。ぜひ、来て、見て、触れて、楽しんでもらいたいですね。

歴史にも触れよう

すわ公園交流館の建物は、昭和4年に市内の実業家である熊沢一衛^{いちえ}により、図書館として四日市市に寄贈され、昭和51年からは「児童館(こどもの家)」として利用されていました。その後、平成15年8月には、人々の憩いの場、交流の場および自己実現の場として活用できる中心市街地活性化の拠点とするため、「すわ公園交流館」としてリニューアルオープンしました。この歴史的建造物は、国登録有形文化財に登録されています。

中心市街地の魅力あるまちづくり

中心市街地は交通の便が良く、買い物や飲食はもちろん、文化・市民活動や就業の場として、また、市役所などにおける行政手続きなど、多種多様な機能を有しています。

最近では、これらの特長を生かし、サンシ前の再開発ビルや相次ぐ高層マンションの建設、企業の本社ビルの立地、さらには近鉄四日市駅東西のふれあいモールの整備や博物館・プラネタリウム、四日市公害と環境未来館のオープンなど、活性化に向けた新たな動きが加速しつつあります。

今後とも、市として、中心市街地に多くの人々が訪れるような魅力あるまちづくりを積極的に進めていきます。